

デジタルツールの活用で円滑な情報配信

地域活動のデジタル化 - LINE 公式アカウントの活用 -

みんなで「あつまり」「つながり」
「活躍する」ためのホットな情報
をお届け！

発行：甲府市協働支援センター

協働支援センターでは「甲府市協働のまちづくり第4期推進行動計画」に基づき「地域活動のデジタル化の推進」に取り組んでいます。先進的な取組として、山城地区の下小河原自治会では自治会員向けの「LINE 公式アカウント」を7月から開始していますのでご紹介します。

デジタル化の推進に向けた打合せの様子

この取組は、下小河原自治会公式 LINE で、ごみ収集日、デジタル回覧板（紙回覧板も併用）、防災情報、イベントなど役立つ情報や動画を随時更新し、いつでも閲覧可能にするものです。さらに、町民アンケートを実施し、その結果を自治会運営に反映するなど、『参加しやすい、楽しい、入って良かった自治会』を目指しています。地域活動のデジタル化に関するご相談は当センターまでお寄せください。

地域で備える防災の取組 - デジタルの活用と地域防災の重要性 -

各地で発生する自然災害を受け、防災意識が高まっています。下小河原自治会では、備蓄品やハザードマップを自治会ホームページで共有し、地域の実情に合わせた防災情報を整備しています。防災への備えとして大切なことは、日頃から住民間で情報を共有しておくことです。また、災害時に迅速な安否確認や救護を行うためには、日頃から顔の見える関係づくりが鍵となります。過去の震災では、倒壊した家屋等から多くの方が「隣人・知人」に救出されており、地域での支え合いが重要となりますので、この機会に身近な地域活動に目を向けてみましょう。

下小河原自治会 LINE 公式アカウントの画面▲



山梨ことぶき勸学院 出前講座

山梨ことぶき勸学院において『協働によるまちづくりの推進』をテーマとした講座を実施しました。2 日間で計 60 名の勸学院生が参加し、これからのまちづくりについて考えを深めました。講座ではまず「協働によるまちづくり」の基本的な考え方とその背景を学び、その後、地域の課題を挙げたうえで「協働」の観点から解決策を検討するワークショップを行いました。参加された皆さまが今後、ここで得た経験や知識を地域づくりへ活かしていただけることを期待しています。



ワークショップの様子

甲府市協働のまちづくり懇話会

「第1回甲府市協働のまちづくり懇話会」を開催し、「甲府市協働のまちづくり第4期推進行動計画」の取組状況について意見交換を行いました。懇話会では、若い世代の地域活動への参加促進が課題として挙げられ、中学生などの将来の担い手づくりに向けた意見が出されました。また、地域活動のデジタル化については、Wi-Fi 環境の整備から、どのようにオンライン会議などのデジタル活用につなげていくか、今年度の取組について意見が出されました。デジタル化を進めるなかで、地域活動の担い手の事務負担を軽減しつつ、若い世代の参加を後押しする取組を着実に進めていくことを共有しました。



丸山正次 委員長

